日本キリスト教社会福祉学会inうらかわ
第６４回大会ご案内

大会テーマ　「変革は、弱いところ、小さいところ、遠いところから」
－当事者に学び、活かされるキリスト教社会福祉－

大会趣旨

今から４０年前（1984）、「過疎も捨てたもんじゃない」「勝手に治すな自分の病気」「社会復帰から社会進出へ」などをかかげ、精神科病棟から地域に繰り出した若者たちが、教会の一室を借りて起業（日高昆布の下請け）することからはじまったべてるの歩みは、「囲い込んで、管理し、服従」を強いる「精神医（囲）学・看（管）護・福（服）祉」からの自立の模索でもありました。

「苦悩の最大化」（バザーリア）として「こころの病」の形で内在化された人と社会の課題を、当事者自身があえて「自分事」として引き受けながら、他人事（ひとごと）のように眺め、考察して、仲間や社会との共有と変革をめざす「当事者研究」の実践は、苦悩を生き抜いた当事者のかけがえのない経験を共有し、活かしあう取り組みでもあります。

世界から注目されるこの取り組みは、当事者を治療や支援、理解の対象ではなく、その経験に学び、活かされるべき存在であることを示すものであり、これからのキリスト教社会福祉の研究と実践の大切な指針となることでしょう。

大会長　向谷地生良（浦河べてるの家/北海道医療大学）

○日　時　2024年6月21日（金） 13:00～18:20
　　6月22日（土）　9:00～12:30

○主　催　日本キリスト教社会福祉学会

○対　象　・会員、会友、賛助会員　・教育、福祉、医療等関係者
　　・大会の内容に関心をお持ちの方

○参加方法　対面参加　またはオンライン参加（内容の一部を除く）

○参加費　9,000円（一般）、3,000円（学生）
・情報交換会（希望者のみ:1日目の夜）6,000円
・うらかわスタディーツアー（希望者のみ:1日目の午前）1,650円
・写真（1日目の集合写真：希望者のみ）1,000円
・弁当（1日目：希望者のみ）1,080円　※6/21 11:30~12:15ふれあいホール受取
・弁当（2日目：希望者のみ）1,080円　※6/22 12:30~13:15ふれあいホール受取
・オンライン参加の場合　5,000円（一般）、2,000円（学生）

○会　場　浦河町総合文化会館ふれあいホール（北海道浦河町大通3-52）
　　日本キリスト教団浦河教会（北海道浦河町昌平町東通32）

大会ホームページ
（https://sites.google.com/view/jscsw2024）

○大会事務局　〒057-0024 北海道浦河町築地３丁目５－21（社福）浦河べてるの家
E-mail : 2024u.jscsw@gamil.com

日本キリスト教社会福祉学会 事務局
〒231-8458　神奈川県横浜市中区常盤町1-7　横浜YMCA本部事務局内
TEL 045-662-3721　E-mail : jscsw@yokohamaymca.org

プログラム

総合司会　和田智子（浦河べてるの家）

2024年6月21日(金)

うらかわスタディーツアー　（9：00－11：30）
※希望者のみ「施設見学及び当事者研究等」 / 主催：浦河べてるの家
会場　社会福祉法人浦河べてるの家（北海道浦河町築地3丁目5番21号）

＜会場2　浦河町総合文化会館 ふれあいホール＞

受付(12：00-)

開会礼拝（12：30-13：00）
※浦河教会からの生配信を視聴参加

開会挨拶（13:00-13:15）
※浦河教会からの生配信を視聴参加

＜会場1　日本キリスト教団浦河教会＞

受付(12：00-)

開会礼拝（12：30-13：00）
奨励　五味 一氏（前日本キリスト教団浦河教会牧師）

開会挨拶（13:00-13:15）
学会会長　木原 活信氏　（同志社大学教授）
大 会 長　向谷地生良氏（浦河べてるの家/北海道医療大学）

移動（13:15-13:40）

特別講演（13:40-14:50）
演題「当事者研究の展開」
講師　上野千鶴子氏（東京大学名誉教授/認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長）

基調講演（15:00-15:40）
テーマ「自分自身で共に－当事者研究の誕生」
講師　向谷地生良氏（浦河べてるの家/北海道医療大学）
川村 敏明氏 （浦河ひがし町診療所）
べてるの仲間他

パネルディスカッション（15:50-17:30）
テーマ「当事者に学び、活かされるキリスト教社会福祉実践」
コーディネーター　横山登志子 氏（札幌学院大学）
パネリスト　○杉山真由美氏/社会福祉法人麦の子会
○山根耕平氏/社会福祉法人浦河べてるの家
○奥田伴子氏他/NPO法人抱僕（オンライン）
○三浦真弓氏・中村真浩氏/NPO法人ヒューマンフェローシップ（オンライン）
○指定発言

写真撮影（17:30-17:40）

会員総会　（17:50-18:20）
※会員のみ対象
会場　浦河町総合文化会館 地階ミニシアター

情報交換会　（18:30-20:00）
※希望者のみ
会場　浦河町総合文化会館ふれあいホール

2024年6月22日(土)

＜会場2　浦河町総合文化会館 ふれあいホール＞

受付（8:30-）

教育講演（9:00-10:00）
演題「誰もがカラフルに（彩りゆたかに）生きる社会に向けて ―先住民フェミニストの窓から」
講師 石原真衣氏（北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授）

研究発表・実践報告(分科会)　（10:20-11:50）
総合文化会館内　3会場を予定

閉会挨拶とお祈り（12:00-12:30）
中田一夫氏（社会福祉法人 イエス団）

【お申込み・参加費等のお支払いについて】

大会参加申込

1．当大会は、近隣の方以外は前泊を含む宿泊が必要となります。
お手数をおかけいたしますが、まず宿泊を確保していただいた後、
大会へのお申し込みをお願いいたします。
大会参加の皆様の便宜をはかるため、ホテルを一定数確保しております。
大会申込と併せてご予約いただくこともできますので是非ご活用ください。
2．大会へのお申込みは、インターネットで大会ホームページの「参加申込」から
お申し込み下さい。締め切りは６月７日（金）てす。
3．お申し込みを確認しましたらメールてお知らせしますので、
メール到着後7日以内に、下記の振込先に参加費等のご入金をお願いいたします。
4．振込先
＜方法１＞
郵便局にある払込取扱票にてお振リ込みください。
振込番号：００１９０－９－７０８１１３
加入者名：日本キリスト教社会福祉学会大会事務局

＜方法２＞
他金融機関から振り込む場合の振込用口座番号
ゆうちょ銀行　〇一九（ゼロイチキュウ）　店（０１９）
当座　０７０８１１３

5．オンライン参加の方には、大会の5日位前にオンライン参加の方法、資料等につきましてメールにてお知らせいたします。
※ZOOM（ズーム）(オンライン会議ツール)を使用します。インターネット接続できる端末(パソコン、タプレット、スマートフォン等)で使用できます。
大会当日までにご使用になる端末にZOOMのアプリケーションをインストールしていただく必要があります。

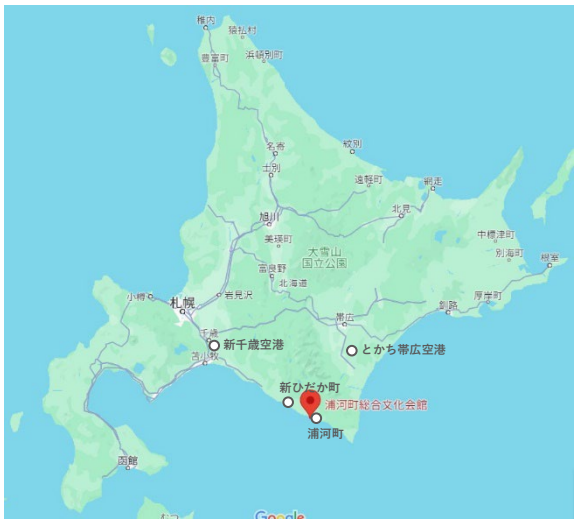
【アーカイブ視聴について】
参加費をお支払いいただいた方は、大会終了後にアーカイブ配信を視聴できます。
配信内容は、特別講演、基調講演、パネルディスカッション、教育講演です。

【 研究発表・実践報告（分科会）の募集について】
研究発表（実践報告）者を募集いたします。今年度のテーマ関連の内容も募集いたします。
研究者のみならず実践者の方々のご応募をお待ちしております。現地で発表していただきますので、
発表者も必ず別途、対面参加の申し込みをお願いします。時間は発表20分+質疑応答10分の計30分の予定。

(1)お申し込みについて
発表希望者は**５月１１日(土)【必着】**までに氏名、研究発表/実践報告のテーマ、メールアドレスを記載の上、学会事務局までメールにてお申し込みください。
その後、**５月３１日(金)【必着】**までに下記(2)の内容のレジュメを学会事務局までメールでお送りください。
最終的な発表者の決定は大会実行委員会にて行い、学会事務局より発表者に連絡いたします。

(2)レジュメ作成要領
①A4版2枚以内とします。②1枚目にテーマ、所属、氏名を明記してください。
③レジュメのデータはWordで作成し、学会事務局までメールで送付してください。
●学会事務局のメールアドレス：jscsw@yokohamaymca.org

会場案内



会場1　日本キリスト教団浦河教会
　北海道浦河町昌平町東通32

会場２　浦河町総合文化会館　ふれあいホール
　北海道浦河町大通3-52　3階

会場１－会場２ 約650m（徒歩約10分）無料シャトルバス運行あり

うらかわスタディーツアー
　社会福祉法人浦河べてるの家
　北海道浦河町築地3丁目5番21号
※スタディツアーから会場までの移動は主催者側で確保

新千歳空港－浦河町	約130km（車で約2時間30分）
とかち帯広空港－浦河町	約100km（車で約2時間）
新ひだか町－浦河町	約 40km（車で約50分）

浦河町(うらかわちょう)は、日高山脈を背に太平洋に面した自然豊かなまちです。この環境を生かした農業と漁業がさかんで、特に競走馬は国内有数の生産頭数を誇り、町内のあちらこちらで馬のたたずむ姿を見ることができます。また、浦河沖の太平洋は、魚種も多く豊かな海の幸をもたらしてくれます。町では乗馬にも力を入れ、町内の乗馬施設では、子どもからお年寄りまで、さらに近年は障がい者乗馬にも取り組み、誰もが馬とふれあう環境が整っています。
さらに浦河町は、医療・保健・福祉に関連した関係機関が集積し、精神保健、高齢者、児童、障害福祉などに関する地域福祉サービスが充実していることでも知られています。

この度の学会の第1会場として用いられる浦河教会は、138年前の1886年6月23日に、当時の浦河町に隣接した荻伏村に「浦河公会」設立（現在の日本キリスト教団元浦河教会）のため来道したアメリカン・ボード日本代表O.H.ギューリック、神戸教会牧師原田助が、公会設立式後滞在し、浦河などで伝道集会を行い、その結果、1899年に設立された「浦河組合基督教会」が、そのルーツとなります。

学会開催の契機となった社会福祉法人浦河べてるの家は、1984年12月に、その浦河教会の牧師館で、精神障害を経験した若者たちに古い会堂を住まいとして提供し、日高昆布の下請け作業を通じた起業から生まれたものです。

ホテルについて　大会参加の皆様の便宜をはかるため、ホテルを一定数確保しており
会場までのチャーターバス付の下記のホテルがおすすめです
大会ホームページの参加申込よりお申込みください

●ホテルアネックスイン
北海道日高郡新ひだか町静内本町２丁目３－１　　シングル　9,100円(朝食付)/1泊
※キャンセル・不泊：14日前から 宿泊料金の20% / 7日前から 宿泊料金の50% / 前日 宿泊料金の80% / 当日 宿泊料金の100%

●ホテルローレル
北海道日高郡新ひだか町静内本町１丁目１－１　　シングル　7,700円(朝軽食付) /1泊
※キャンセル・不泊：7日前から 宿泊料金の40% / 前日宿泊料金の80% / 当日 宿泊料金の100%

※上記旅行取扱は**旅システム**(〒060-0809札幌市北区北9条西4丁目7-4エルムビル３Ｆ)に依頼しています

※ホテルをご自身で手配される場合は、下記のサイトから検索し直接お電話でのご予約がおすすめです
浦河町宿泊ガイド　https://uma-furusato.com/introduction_guide/field/area/12/

チャーターバスについて　新千歳空港発着、新ひだか町静内発着
大会ホームページの参加申込よりお申込みください

【新千歳空港発着】
6月20日(木)18:00発　新千歳空港→ホテル（新ひだか町及び浦河町）5,000円
6月22日(土)13:30発　浦河町総合文化会館→新千歳空港　5,000円

【新ひだか町静内発着】
6月21日(金) 8:00発　アネックスイン及びローレル発→浦河（会場）1,100円
6月21日(金)20:15発　浦河（会場）→アネックスイン及びローレル　1,100円
6月22日(土)8:00発　アネックスイン及びローレル発→浦河（会場）1,100円

21日昼からの大会に
参加される方は
こちらのバスがお勧めです

公共交通機関
JR北海道バス
(新ひだか町)
静内　10:30発
(浦河町)
大通3丁目　12:19着

会場最寄りバス停まで
上記運行がございます
JR北海道バスご利用の場合は
路線バスのため各自バス停へ

※上記旅行取扱は**北海道ひだか交通バス株式会社**(〒056-0027日高郡新ひだか町静内駒場5-20)に依頼しています